

～豊かな自然の恵み 佐久の誇りとなる 信頼される水道～

# 佐久水道企業団 地域水道ビジョン

～H21年度改訂版～

平成22年3月 佐久水道企業団



大石水源

# CONTENTS

## 要旨 地域水道ビジョン策定にあたって

1. 事業の経緯 .....	1
2. 概況 .....	1
3. 地域水道ビジョン策定の主旨 .....	2
4. 計画期間 .....	2

## 第1章 佐久水道企業団のあゆみ

1. 佐久平上水道組合の設立 .....	3
2. 佐久水道企業団の誕生 .....	3

## 第2章 水道事業の現況と課題

1. 給水人口・給水量 .....	6
2. 施設の概要 .....	7
3. 水質の状況 .....	13
4. 配水量と水圧 .....	15
4-1. 配水量の実績 .....	15
4-2. 配水池容量 .....	16
4-3. 水圧の状況 .....	16
5. 管路 .....	18
6. 維持管理 .....	19
7. 経営状況 .....	20
8. 業務指標からみた現況と課題 .....	22
8-1. 安心 .....	22
8-2. 安定 .....	23
8-3. 持続 .....	24
8-4. 環境 .....	25
8-5. 管理 .....	25

## 第3章 お客様アンケート調査

1. お客様の属性 .....	31
2. アンケート調査結果 .....	32
2-1. 安心しておいしく飲める水の供給 .....	32
2-2. 施設の耐震化と更新 .....	32
2-3. 経営の効率化と健全化 .....	32
2-4. お客様サービスの充実 .....	32

## 第4章 水需要の見通し

1. 給水人口の推計結果 .....	35
2. 給水量の推計結果 .....	36

## 第5章 佐久水道企業団の目指すべき方向性

1. 視点 .....	38
2. 理念（ビジョン） .....	39
3. 政策（ミッション） .....	39
3-1. 安全でおいしい水の供給 .....	41
3-2. 安定した水道水の供給 .....	41
3-3. 健全経営の堅持 .....	43
3-4. 職員の技術力の向上 .....	43
3-5. 佐久地域の水道の発展への寄与 .....	43
3-6. 環境保全 .....	43
3-7. お客様サービスの充実 .....	43
4. 施策（アクション） .....	44
4-1. 『安全でおいしい水の供給』を実現するために .....	44
4-2. 『安定した水道水の供給』を実現するために .....	45
4-3. 『健全経営の堅持』を実現するために .....	47
4-4. 『職員の技術力の向上』を実現するために .....	48
4-5. 『佐久地域の水道の発展への寄与』を実現するために .....	49
4-6. 『環境保全』を実現するために .....	49
4-7. 『お客様サービスの充実』を実現するために .....	50

## 第6章 実現方策

1. 『安全でおいしい水の供給』の実現方策.....	53
1-1. 安全でおいしい水の確保.....	53
1-2. 水源から蛇口までの水質管理の徹底.....	54
2. 『安定した水道水の供給』の実現方策.....	55
2-1. 効率的な施設への再編成と配水能力の確保.....	55
2-2. 維持管理体制の強化.....	56
2-3. 災害に強い水道づくり.....	58
3. 『健全経営の堅持』の実現方策.....	59
3-1. 計画的な事業運営.....	59
3-2. 経営の効率化.....	66
4. 『職員の技術力の向上』の実現方策.....	66
4-1. 人材の確保と育成.....	66
4-2. 持続可能な組織づくり.....	70
5. 『佐久地域の水道の発展への寄与』の実現方策.....	70
5-1. 佐久地域の水道事業の活性化.....	70
5-2. 広域化の促進.....	71
6. 『環境保全』の実現方策.....	71
6-1. 水資源の有効利用.....	71
6-2. 環境への配慮.....	72
7. 『お客様サービスの充実』の実現方策.....	73
7-1. お客様サービスの向上.....	73
7-2. 開かれた水道事業.....	73

## 第7章 計画に基づく事業推進の留意点

.....	75
-------	----

# ◆ 要 旨 ◆

## 地域水道ビジョン策定にあたって

### 1. 事業の経緯

佐久水道企業団は、我が国で最初の農村地方広域水道のモデルケースとして、昭和30年に設立した佐久平上水道組合を前身としています。以来、幾多の拡張改良工事を重ね、組織団体の水道施設の統合整備を図り、現在では2市2町（佐久市、東御市、佐久穂町、御代田町）にわたる計画給水人口130,505人の広域水道となりました。これまで安定給水を維持するために、水源の確保や施設の充実、設備投資の財源確保、健全財政の維持に努め、今日に至ります。

### 2. 概況

今日の佐久水道企業団の課題は大きく分けて4つあり、お客様に清浄にして豊富、低廉、安定的な水の供給と、安全、安心をお届けするために、これらの課題を克服しなければなりません。

#### ①クリプトスポリジウム対策

佐久水道企業団の水源の多くは地下水や湧水であり、これらの水源ではクリプトスポリジウムは検出されていませんが、一部の水源でクリプトスポリジウムの汚染の可能性を示す指標菌が検出されています。安全な水を供給する上で、汚染の可能性のある水源については、クリプトスポリジウムの対策が必要となります。

#### ②ライフラインとしての機能の充実

下畑配水池からの幹線配水管が今後10年で更新時期を迎えることから、効率的な水運用へと見直しを図り、不足する配水池容量の増強を図ることが必要となります。北部地区でも不足する配水池容量を増強し、硬度対策を含めた施設整備が必要となります。これらの整備とあわせて、地震、災害に強い施設の構築を図ることも重要です。

#### ③水質の改善

安全な水を供給することはもとより、お客様の要望する水質はより良質な水質が求められており、硬度問題や鉄・マンガン等から生じる濁り水の解消を図る必要があります。また、環境面からも自然豊かな水源の保全を推進していかなければなりません。

#### ④これらの課題を克服するための資金の確保

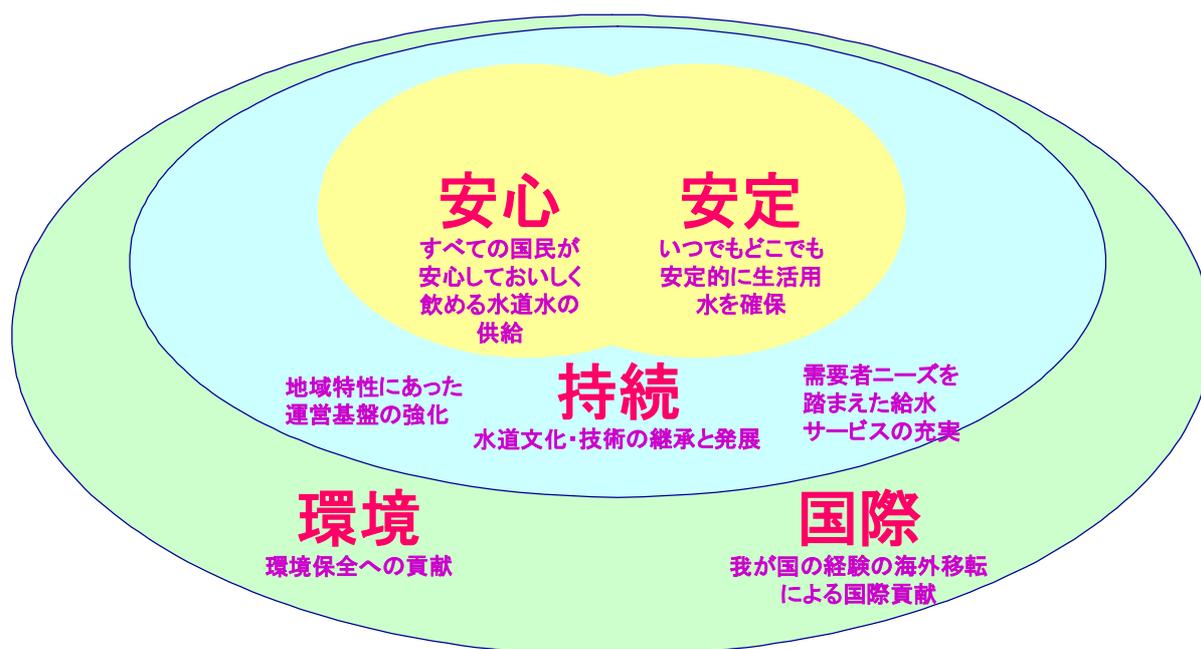
少子高齢化社会の進行や経済の低迷とともに、節水器具の普及や節水意識の浸透等の要因により水需要は伸び悩み、事業経営の根幹である料金収入の動向は、今後も厳しい状況が続くこと予想されます。そのため、企業団自身も経費節減に努め、効率的な経営を職員一同全力で努力し、お客様視点にたった事業を展開する必要があります。

### 3. 地域水道ビジョン策定の主旨

現在、水道界では、厚生労働省が21世紀にあたり水道関係者共通の将来像として、「世界のトップランナーを目指してチャレンジを続ける水道」を基本理念とした「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」という5つの政策課題の実現の取り組みを推進するために、「地域水道ビジョン」の策定を各水道事業に求めています。

佐久水道企業団においても、「豊かな恵み佐久の誇りとなる信頼される水道」を基本理念とした「地域水道ビジョン」を平成20年度に策定しました。今後とも引き続き、現在の4つの課題を克服するための施策を掲げ、職員一丸となって事業を実施し、いつまでも安心して飲んでいただける、おいしい水の供給に努めます。

なお、平成21年4月1日に、佐久穂町にて経営されてきた簡易水道4事業が、水道事業の経営基盤強化とお客様サービスの向上を図るため、佐久水道企業団に合併しました。そのため、合併した簡易水道事業を含めた事業の見直しを行い、「地域水道ビジョン」を改訂しました。改訂した「地域水道ビジョン」は、お客様に佐久水道企業団のことをご理解していただくために、継続して公表していきます。



出典：「水道ビジョン 平成16年6月（平成20年7月改訂） 厚生労働省健康局」

図 1. 国の水道ビジョンの政策目標

### 4. 計画期間

この計画期間は、平成21年度から平成30年度までの10年間としました。なお、今後、計画の途中年度で実施評価を行い、計画の見直しを図る予定です。

計画期間 平成21年度 ～ 平成30年度